



## THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報  
ロータリークラブ

事務所/広島県三次市十日市東1-16-19  
TEL (0824) 64-1245  
FAX (0824) 64-1245  
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
http://mcrs.senior-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南1-10-1  
三次グランドホテル

例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/栗本清秀

幹事/杉谷優次

●2021~22年度 国際ロータリーのテーマ



## 2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

■本日のプログラム ゲスト講演  
鷗州塾会長、不動産投資・管理会社代表  
宇津田 敬二様

■次回例会日時 2021年11月29日(月)

■次回プログラム チャーターメンバー卓話  
村竹会員、佐々木会員

## ■第1335回例会記録

●日時.....2021年11月15日(月) 12:30~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ソング「奉仕の理想」.....全員

## ●ゲスト紹介

RI第2710地区ガバナー公式訪問

ガバナー	杉川 聡様
ガバナー随員幹事	遠崎秀一様
ガバナー補佐	増田茂典様
ガバナー補佐幹事	藤後敏彦様



■開会挨拶.....栗本会長

## ようこそ、ガバナー

皆さん、こんにちは。杉川ガバナー、遠崎随員幹事、増田ガバナー補佐、藤後随員幹事、ようこそ三次中央ロータリークラブへお越しいただきありがとうございます。杉川ガバナー、後ほどの講話、そして例会後クラブフォーラムよろしくお願ひいたします。

皆様をお迎えするにあたり、小根森SAAに花を活けて頂きました。タイトルは「歓迎」とうかがっております。三次中央ロータリークラブ会員一同心より歓迎いたします。

午前中の、会長幹事懇談会ではお越しの皆様と、私と杉谷幹事、沈エレクトが参加し、貴重な時間を有意義に過ごすことが出来ました。

今日11月15日は1942年の戦時下に関門鉄道トンネルの開通式が行われた日です。のちの車道や歩道のある関門国道トンネルや新幹線が通過する新関門トンネルに先立つ世界でも最初期の海底トンネルの一つとされています。

本州と九州を結ぶ連絡通路計画は20世紀初頭からあり、橋を架ける案は敵艦船からの砲撃を危惧し廃案となりました。

工事計画は難航しましたが、当時の鉄道省を陸軍が後押しし、1936年9月に起工式が行われ、大規模な工事が始まりました。

なぜ陸軍がこのような計画を推進したかについては、この実績をもとに宍岐、対馬も繋げ国内流通の安定はもとより、大陸の満州まで掘り軍事物資輸送計画があったようですが実現にはいたっておりません。

戦前の日本の土木技術の粋を集めたこの完成は、戦後の日本の礎の一つと考えます。

以上で会長挨拶を終わります。



■幹事報告.....杉谷幹事

- 中西会員のお母様をご逝去されました。すでに葬儀はご家族で営まれました。
- 12月20日のクリスマス家族会の出欠表を回覧しております。
- 11月18日、三次市役所において献血と骨髄バンク登録受付が行われます。ご協力をお願いいたします。

■出席報告.....中西委員長

この場を借りまして、一言お礼を述べさせていただきます。  
11月10日、母が92歳で他界いたしました。ご厚志をいただきまして、ありがとうございました。

●第1333回 11月1日

会員数	36名	Make-up	1名
欠席	11名	出席合計	26名
欠席者の規定免除	4名	出席率	81.25%

- Make-up 松本君(三次RC)
- 第1335回 本日の出席は36名中30名です

■SAA.....小根森SAA

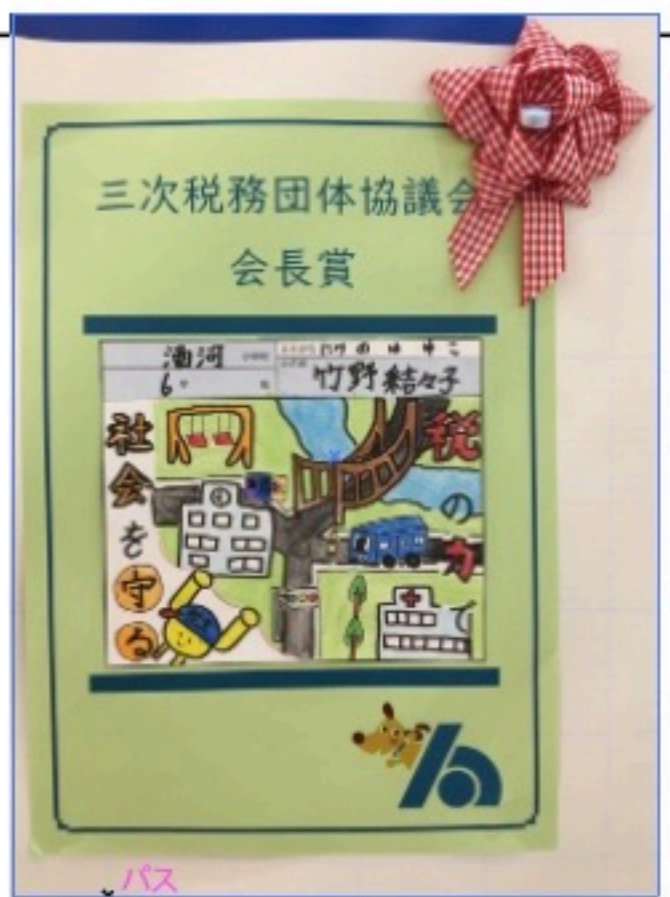
- RI第2710地区ガバナー杉川様よりたくさんのご厚志をいただきました。  
増田ガバナー補佐より 本日は杉川ガバナー公式訪問、よろしくお願いいたします(伏)
  - 会員ニコニコBOXご出宝 +
- 栗本君 杉川ガバナー、遠崎幹事をお迎えして。(伏)  
上田君 暴力追放広島県民会議より功労表彰を受けました。また三次コンビニエンスストア防犯協議会も功労団体表彰を受けました。(伏)  
竹野君 元気です。公式訪問、ガバナーを迎えて。(伏)

「杉川ガバナー、遠崎幹事をお迎えして」  
杉谷君、沖君、沈君、平田君、石田君、中西君、大井君、酒井君、信国君、重信君、山縣君、水野君、井上幸三君、池田君、安藤君、中島君、小根森君、宗平君

ニコニコBOX本日出宝額 43,000円

会員ひろい話

竹野会員のお孫さんが、「税に関する絵はがきコンクール」で、三次税務団体協議会会長賞を受賞しました。  
プラザに展示中です。





奉仕しよう  
みんなの人生を  
豊かにするために

第2710地区  
ガバナー  
杉川 聡

地区ガバナーの杉川です。

自己紹介をさせていただきます。1957年生まれ、64歳です。職業分類はビルメンテナンス業で、現在不動産管理を主として広島を中心に障がい者支援などを行なっています。40歳のときにロータリークラブへ入会しました。

それでは、私たちのリーダーであるシェカールメーター氏の紹介をします。インドの方で63歳、会計士であり、自身が設立した不動産開発会社「Skyline Group」の会長です。

2021-22年度RI会長  
シェカール・メータ

カルカッタ・マハナカルRC所属  
インド西ベンガル州  
会計士であり、自身が設立した不動産開発会社「Skyline Group」の会長  
カナダを本拠とする「Operation Eyesight Universal (India)」のディレクター



RI会長のテーマは「Serve to Change Lives」(奉仕しようみんなの人生を豊かにするために)です。先輩に連れられてインドの僻地に行った時に、奉仕の必要性を強く感じられ、みんなの人生を豊かにすることが自分の人生を豊かにすることだと強く言われています。

このテーマロゴは「多様性と調和」を表現しており、多様性を表すカラフルな地球儀を優しく手で包み込むようなロゴで、会長の思いがこもったものになっています。会長が三つ目標を掲げられています。

シェカール・メータRI会長の目標

①一つ目は会員の増強です。2022年7月1日ま

でに 会員数130万人を目指します。

「each one, bring one」(みんなが一人を入会させよう) 皆さん一人一人が同じ気持ちを持った方に声をかけていただき、一人でも多くの仲間と活動ができれば活性化していきます。ある程度は新陳代謝を繰り返しながら成長していくことが必要なのだと思います。

②二つ目は、各クラブが「ロータリー奉仕デー」を開催して下さい。冠を掲げて複数のクラブを巻き込んで大きな奉仕イベントにしていただくことで少しでも社会での認知を高めていただきたいというのが思いです。私が入会した頃は日本には「隠匿の美」という言葉があり、わざわざ発信しなくても見ている人は見ていると言われたものです。しかし、時代は変わってきています。皆様がせっかく良い奉仕活動をされているのであれば、多くの方に認識してもらい、仲間になっていただきたいというのが会長の思いです。

③三つ目は女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会など、未来の女性リーダー成功に必要な手段を与えて下さい、というものです。

世界のロータリアンは25%近くが女性になっています。次の会長はカナダ人の女性になる予定です。1989年に初めて女性がロータリアンとなってから30数年して女性リーダーが誕生日します。この地区には全てのクラブに女性会員がいるようにしていきましようとお願ひしています。

■小根森会員作「歓迎」



次に、私の会社で知的障がいや、身体障がいの方約40名が就労訓練などをされている様子の動画をご覧ください。動画

先輩から、障がいと言っても色々な障がいがあるので、その子をしっかり見てあげることが大切なんだ、その障がいに合わせて色々な仕事を創ってあげれば、障がい者の方も健常者と同じ様にできるんだよ伝えられました。そんな事があり、障がい者の就労支援に一生懸命携わっています。

そして、多様性を受け入れ相互理解を深めようというのをガバナー信条とさせていただいて、障がい者の就労支援を、機会があれば皆様も実践していただければと思います。

## ガバナー信条と地区運営方針

### 地区ガバナー信条と地区運営方針

#### ガバナー信条

「みんなのためになるかどうか。  
未来のためになるかどうか。」  
～多様性を受け入れ、相互理解を深めよう～

### 地区ガバナー信条と地区運営方針

- ・10数年前に障がい者の親子との出会い。
- ・障がい者に働く場を提供したい。
- ・障がい者就労支援施設と障がい者雇用に注力。

「みんなのためになるかどうか。  
未来のためになるかどうか」  
～多様性を受け入れ、相互理解を深めよう～

### 地区ガバナー信条と地区運営方針

- ・コロナ禍において、世界的に様々な差別が発生。
- 受容の精神の必要性を実感。SDGs活動などの社会への浸透を見るにつけ、未来への責任を痛感。

「みんなのためになるかどうか。  
未来のためになるかどうか」  
～多様性を受け入れ、相互理解を深めよう～

### 地区重点運営方針-1

#### ①クラブ運営の構造的支援

- ・クラブに今以上に役立つ「地区」になるために  
現在の運営内容等の見直し  
地区委員の在り方  
行事の在り方  
組織等の見直し

#### ②会員基盤の強化

- ・退会防止には柔軟な対応
- ・会員増強：each one, bring one  
50人以下のクラブは約増1名、51人以上のクラブは約増2名

### 地区重点運営方針-2

#### ①クラブのデジタルトランスフォーメーションの推進支援

- ・ZOOMなどを活用し、例会や会議などの効率的強化
- ・クラブ・セントラルには必ず入力を

#### ②ロータリー専任者推進支援(制度面との連携)

#### ③ロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力強化

#### ④ダイバーシティ理解を深める卓話興隆の支援

地区の重点方針は、一つは各クラブが主役と置いて地区として可能な限り対応させていただきます。会員基盤の強化では退会防止です。コロナの影響で活動ができにくい会員がおられる場合は細則を拡大解釈してでも可能な限りメンバーと一緒に活動ができるように工夫していただきたいと思います。クラブのデジタル支援では、ズームを利用して講師の方から話を聴くクラブも増えてきました。

また、ダイバーシティの理解を深める卓話をさせていただければと思うところであります。

11月に入りましたが、まだ半年あります。コロナ禍であったけれど結構奉仕活動もできたと言えるような一年にさせていただきたいと思います。私もガバナーとして先頭に立って活動させていただくことをお誓いして、卓話とさせていただきます。コロナに負けず頑張っていきましょう。



## ■ガバナー公式訪問クラブフォーラム

2021年11月15日 13:40~15:30

### ■フォーラム開会 点鐘

会長:フォーラムを新たな気付きの場としたいと思います。よろしくお願いいたします。

ガバナー:なるべくごつくばらんに遠慮なくご質問ください。

### ■意見発表 進行 増田ガバナー補佐

#### 【会員増強について】

信国秀昭

クラブ運営の中で、会員増強はロータリークラブのみならず、あらゆる組織の最大テーマであると考えます。

一つの目標にむかって、常に活性化を目指し組織を構成する会員が思いやりをもち共に行動していくほかに「四つのテ

スト」にある「好意と友情」を深め「みんなのためになるかどうか」を実践していくことが理想であり、その様に心がけることが退会防止と会員の増強につながるのではないのでしょうか。特に注力したいことは、女性会員並びに若い会員の勧誘に努めることです。

次に、退会防止策について思う事は、まず入会に際しロータリークラブの実情をしっかりと伝えることにあると思います。推薦者はもとより情報委員会、増強委員会が連携しロータリーの目的をはじめ、クラブの歴史や伝統、さらに中央ロータリークラブの活動内容など出来る限り詳しく伝えることが重要であると考えます。

ややもすると上辺だけに留まり、本質を伝えられず、入会后「こんなことは聞いてなかった」「これがロータリーとは思わなかった」そんな思いがつのり、退会につながっていくことは無いでしょうか？クラブ入会后3年未満で退会者が多いと聞きます。勧誘の時こそ、楽しい事ばかりでなく、厳しい事も伝えていく必要があると思います。そして入会后は新入会員セミナーを開催し親睦と融和を深める事。そして推薦者を中心に、目くばり・気くばりをし、共に支えあい共に成長していけたらいいなあと思います。そのことが必ず退会防止につながることになるかと確信しております。-略-

最後に、ガバナーにお伺いしたいことがございます。「ロータリーの魅力」とは何でしょうか？

(全文は会報1334号に掲載済みです)



#### 【ガバナー講評】

杉川ガバナー

あるクラブでは、たくさんの同好会があって同好会での繋がりがロータリアンとしての仲間意識になっていると思います。「親睦」がベースにあるのがロータリーです。

退会理由や入会を断る理由を分析したクラブがありました。時代も変わって来ていますので、活動しやすい状況を作るのが大切です。「ロータリーの魅力」とは、とても難しい質問ですが、一番ベースになるのは、「仲間」だだと思います。



#### 「三次中央RCにおけるダイバーシティ」

小根森直子

先日いただきましたロータリーの友の10月号にロータリーとしてのダイバーシティの捉え方が掲載されていました。ダイバーシティとは多様性という意味だそうです。人々は年齢、民族、障害、宗教、文化、性別、性的指向などにおいて実に様々な多様性を持っております。その多様性を認め受け入れ尊重すること、そしてロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していく必要があると書かれています。

多様性の内容は様々ですが、今日私は女性ロータリアンとして男女間のダイバーシティについて思うところを述べさせていただこうと思っています。-略-

(全文は会報1334号に掲載済みです)



### ガバナー講評……………杉川ガバナー

当クラブは72名中4名の女性会員です。お互いが可能な限り仲間意識を持ってカバーし合うことが大切になってきます。女性だからどうこうと考えなくてもよいのです。「多様性」という言葉自体、10年くらいすれば使われなくなってくるのではないのでしょうか。今は過渡期なのです。性別とか、外国人だとか、障がいの有無とか、お互いが理解し合うことで問題ではなくなるでしょう。

### 増田ガバナー補佐

今年はガバナー補佐12名のうち、2名が女性です。数年後は、こういう問題自体語られることが少なくなるのではないかと思います。前を向きながら頑張っていただければと思います。当クラブでも、女性会員に先入観なく接して、居心地良く過ごしてもらえるようにしなくてはと思います。ご指導賜りたいと思います。



### 篠原 薫会員

入会してから一年と数ヶ月、すぐにコロナ禍となり、孤立している状況です。お声をかけていただければありがたいです。

### ガバナー……………杉川ガバナー

やはり、同好会というものがあればいいと思います。例会がなくても色々な同好会があれば、クラブが活性化していきます。早速会長を中心に話し合われることをお勧めします。

### よくある質問に対して……………杉川ガバナー

まず、ポリオについて、いつまで続くのかというご質問がよくあります。しかし、「0」になったからといってすぐに終わることはできません。世界的なレベルでの事ですので、症例がなくなってもしばらくは続けなければなりません。

次によくある質問が、米山記念奨学会につい

てです。奨学生に中国人が多いのは不適切ではないかというご質問です。確かに多いのですが、応募者の7割が中国の学生です。大学も運営上、外国からの留学生を取らざるを得ない状況です。人口が多いのですから、優秀な学生も多くなります。日本と中国との架け橋となる人材を育成して行くのだから悪いことではないと思います。しかし、あんまり多くならないよう調整はしております。

### 終わりに……………杉川ガバナー

ロータリー奉仕デーについては無理のないようにやっていただいて、DXについては、今後増えてくると思います。例えばズームで講演をすれば遠くからの講師でも招くことができます。広報についてもインスタとかフェイスブックなども利用してみてください。会員、45名くらいを目指して、活気のあるクラブ運営をしていっていただきたいと思います。本日はありがとうございました。

### 増田ガバナー補佐

ガバナー、ありがとうございました。そして意見発表していただいた信国さん、小根森さん、ありがとうございました。これを持ちまして、司会を終えさせていただきます、マイクを杉谷幹事にお返しいたします。本日は、ありがとうございました。+

ガバナーと随行幹事にお土産のワイン



■謝辞  
■点鐘

栗本会長  
栗本会長